

市のフレーザーセンターが 実験施設として再生！



にし まさゆき
西 将幸さん

宮崎県から北の大地での新規就農を目指します！



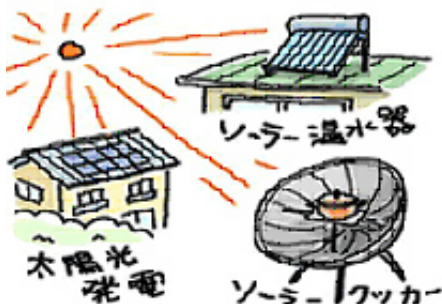
北の大地での新たな挑戦！

emoney

身の料理研究家さんにもお越しします。

皆さんの参加をお待ちしています

☎080-3177-6279



「NPO@北の大地」と新規就農を目指す西 将幸さんが手を取り、自然エネルギーを利用し、いちこの栽培実験を行います。

利用される自然エネルギーは、薪や廃油、太陽熱で、いずれもローコストで地球に優しいものとなっています。

極寒の地での冬期間栽培は、膨大な暖房等のコストがかかるため、当該実験が成功すると、ローコストでの栽培が可能になり、北海道の農業に新たな風を巻き起こす可能性があります。

おんねちはNPOです

NPO法人

赤平市民活動支援センター

《 講座内容 》

- (1) 1月24日(日)「絵本・紙芝居を楽しもう」
- (2) 2月21日(日)「作って遊ぼう」
- (3) 3月7日(日)「絵本を作ろう」

講師 児玉 はつ枝氏
ざりがに探偵団所属



「親子ふれあい講座」

親と子のふれあい体験学習を行うなかで、いろいろな絵本(本)に出会ったり、もの作り遊び(手作り)のおもしろさを味わい、若い親が子育ての知識を深め、親と子が共通の話題で話し合い、楽しむことを目的に開催します。

主催	NPO法人赤平市民活動支援センター
期日・期間	平成22年 1月24日(日) 10:00~12:00 平成22年 2月21日(日) 13:00~ 平成22年 3月7日(日) 13:00~
場所	まちなか公民館「ラビカ館」 大町1-6 御殿倶楽部前
対象・定員	30名
参加費	未定
持ち物	はさみ、色鉛筆、クレヨン、えのぐ、油性ペン
申込み	平成22年 1月20日(木)まで 電話または直接まちなか公民館にお申込みください。☎32-5567

雪害事故にご注意を！



毎年、降雪・積雪により様々な雪害事故が多発しています。
本年も降積雪期を迎えるにあたり、身近な雪害事故には十分注意してください

1 除雪作業をは十分注意しましょう。

★除雪機を使う場合

- ・雪詰まりを取り除く時は、必ずエンジンを停止し回転部分が完全に停止してから雪かき棒を使用して行いましょう。
- ・道路が傾斜しているところは、路肩転落に注意しましょう。
- ・道路が凍結している場合は転倒することがありますので注意しましょう。
- ・安全装置がついている場合は、必ず説明書をよく読み、適切に使用しましょう。

★屋根の上

- ・1人で雪下ろしをする時は、家族や近所の人に知らせて行うようにしましょう。
- ・はしごを固定し、命綱をつけ、転落防止に注意しましょう。
- ・積雪が多くなならないうちに行いましょう。
- ・暖気のときは屋根が滑りやすく、落雪しやすくなっていますので注意しましょう。
- ・歩行者や車両等に注意して屋根から雪を下ろしましょう。

2 除雪作業中の車両には、近寄らないようにしましょう。

3 外出の際には、路面状況や落雪に注意して歩行しましょう。

4 最新の気象情報をチェックしましょう。

5 暴風雪時の外出は避けるようにしましょう。

6 FF式ストーブの給排気筒が雪でふさがらないよう注意しましょう。

収穫した「いちご」は・・・

赤平市に来てくれるお客さんが長く滞在して市内を回ってもらう観光施設のひとつとして「いちご農園」を運営します。

さらにスイーツとして・・・

観光いちご農園では、イチゴを摘むだけでなく、その場でスイーツに加工して食べていただきます。



オープニングせしそニー

Opening Ceremony

日 時：1月17日(日) 13時から
場 所：フラワーセンター
定 員：先着50人

試食コーナーに「いちごスイーツ」を用意します。(参加費無料)

赤平市出
西野洋子
いただき

お申込み
西 将幸

ho-ken info

医療保険です

医療保険係 ☎ 32-2214

国保の届出 あなたは大丈夫？

国保は職場の医療保険と違って、加入・脱退などの届出を各自でしなければなりません。

もし、届出をしないでいると、医療費を全額支払うことになったり、保険税もさかのぼって支払うこととなります。

- 国保をやめるとき
- ・他の市町村に転出するとき
 - ・他の健康保険に加入したとき
 - ・生活保護が開始になったとき
 - ・加入者（被保険者）が死亡したとき
- その他
- ・住所、氏名、世帯主が変わったとき
- 国保に加入するとき
- ・他の市町村から転入したとき
 - ・職場の健康保険をやめたとき
 - ・生活保護が廃止になったとき
 - ・子どもが生まれたとき

次のようなときは、必ず届け出ましょう。